

令和6年度
川崎市総合福祉センター
指定管理事業報告書（概要版）

令和7年5月

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

目 次

1	はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	管理業務の実施状況	
	(1) 地域福祉情報バンク事業について	3
	(2) 社会福祉研修センター事業につて	6
	(3) 施設・設備の利用提供事業（貸し館事業）について	7
	(4) ニーズ把握方法と運営方針への反映及び地域との連携について	7
	(5) 事業の周知方法について	8
	(6) 施設及び設備の維持・管理について	8
	(7) 管理経費の縮減に対する取り組みについて	10
	(8) 個人情報の取り扱いについて	11
	(9) 安全管理への取り組みについて	11
	(10) 利用者からの意見・要望等への対応について	11
3	収支状況	
	川崎市総合福祉センター収支状況	13
4	まとめ ・・・・・・・・・・・・・・・・	14
5	資料	
	(1) 地域福祉情報バンク事業資料（資料1）	16
	(2) 社会福祉研修センター事業資料（資料2）	19
	(3) 施設・設備の利用提供事業資料（資料3）	22

1 はじめに ～3つの指定管理事業～

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会（「以下「本会」）では、川崎市総合福祉センター条例等に基づき、令和6年4月1日から令和7年3月31日まで、指定管理者として川崎市総合福祉センター（以下「センター」）の管理運営を行いました。

大規模修繕工事が終了し、ホール及び大会議室の利用を開始し、利用される方々への安全で快適な利用を最優先にした運営管理に努めました。

本会としては、これまで取り組んできた「地域共生社会」の実現、「地域包括ケアシステム」の構築、「防災と災害支援」に引き続き取り組むため、財政の健全化を図りつつ、全市レベルの視点でガバナンスを確保しながら地域の特性に応じた地域福祉の推進をより柔軟かつ機動的に行っております。指定管理事業におきましても、令和6年度は、これまでの取組と経験を活かし、川崎市総合福祉センターの指定管理事業の一層の充実と感染予防対策を徹底した、より安全で利用しやすい施設の管理運営を目指して、次の三つの指定管理事業に取り組みました。

- (1) 「地域福祉情報バンク事業」では、ア 情報の収集及び提供事業、イ 福祉相談事業の2本の柱を中心とした事業を実施しました。

ア 情報の収集及び提供事業については、地域福祉情報提供サイトシステム「かわさき福祉情報サイトふくみみ」にて、行政や民間の福祉関係機関から収集した各種福祉制度やサービス情報、地域のインフォーマル情報等様々な福祉情報を収集、データベース化し、市民の方が自分のニーズに合った地域福祉情報を取り出せるよう管理・運営を行いました。また、「ビジネスケアラー」「合理的配慮」「吃音」「社会保障」などをはじめ、最新の福祉に関する図書、DVD等の媒体を収集し、市民に提供しました。

イ 福祉相談事業については、総合的な福祉の相談「ふくし相談」に対応できる職員体制を整え、健康・医療・生活・福祉に関する様々な相談に応じつつ、その中でも高い専門性が要求される相談については、精神科医師・弁護士・臨床心理士による「専門相談」につなぎ、きめ細やかな相談対応を実践しました。また、「総合相談支援システム」を運用し、相談内容のデータベース化を行うことで、相談対応の効率的かつ効果的な実施と適切な情報管理、事務処理を行いました。

- (2) 「社会福祉研修センター事業」については、昨年度に引き続きコロナ感染予防対策を図りつつ柔軟な開催方法を選択し実施しました。地域包括ケア推進を目的に①地域包括ケア推進研修②地域課題研修③地域活動促進研修を27回実施しました。

地域包括ケア推進研修は、互いに関心を持ち合い、多様性を知り理解する目的で「ストレスマネジメント」「夏休みに親子で学ぼう～家族で備える」（防災研修）「わたしらしく今を生きる～人生をより豊かに！始めよう終活～」 「知的・発達障害のある人とその家族を支えるために」「高次脳機能障害を知ろう」「知っていますか？保護司の活動」「知っていますか？オーバードーズ」を実施しました。

地域課題研修は、地域の課題に気づく意識、地域の中でつながりを持つ目的で「ゲートキーパー研修」「ドローン体験交流会」「認知症サポーター養成講座」「認知症の方への接し方」

「ヤングケアラー理解研修」「山口達也さんによるアルコール依存症と共に生きる～人生をあきらめない～」を実施しました。

地域活動促進研修は、地域活動の活性化、活動を広げる目的で「初級者向けスマホ活用研修」「よしもとスポーツ：Let's レクリエーション」「はじめてでもできるバルーンアート」「まずは自分！バランスを整えよう！健康 UP レッスン！」「社会的処方ってなあに？」「はじめての動画編集」「インターネットセキュリティを学ぼう」を実施しました。



(3)「施設・設備の利用提供事業」については、大規模修繕工事が終了し、ホール及び大会議室の利用を開始し安全で快適な設備を備えた施設の利用を促進しました。

新型コロナウイルス感染症 5 類移行後においても、ホール・各会議室・和室の利用に向けて、感染予防対策を徹底するため、手指消毒剤、サーマルカメラの 1 階・3 階の出入口への設置、1 階事務室内のホール打合せコーナー横の高性能空気清浄機・加熱気化式加湿器の設置を継続して行い、館内の衛生環境の改善に取り組みしました。

また、センター条例及び施行規則等に基づき公平な利用提供を行い、利用者にとって使いやすい施設となるよう状況に応じて柔軟な管理運営を心がけ、利用者の要望の把握と改善に努めることにより、施設の利用促進を図りました。

センターの安全性と快適性、衛生環境の向上を図るため、経年により故障や劣化した設備等の修繕については、優先順位を検討する中で実施しました。

上記 (1) (2) (3) に記載した三つの指定管理事業の令和 6 年度における取り組み結果について、以下のとおりご報告いたします。

2 管理業務の実施状況

（１） 地域福祉情報バンク事業について

ア 情報の収集及び提供

（ア） 地域福祉情報提供サイト「かわさき福祉情報サイトふくみみ」の管理・運営事業

市民が主体的に福祉サービスを選択できるようにすることを目的として、インターネットによる市民への福祉サービス情報発信システムの一元管理・運営を行いました。（閲覧数 196,309件）

a ボランティア・市民活動団体実態調査事業

「かわさき福祉情報サイトふくみみ」に掲載するボランティア・市民活動団体の確認作業を行い、データベースの更新を実施しました。

b 地域福祉情報データベースの管理

川崎市内で活動する福祉に関する団体、福祉サービス、講師情報、福祉に関する図書等のデータベースの登録・更新作業を行い、市民にとって利用しやすいウェブサイトを目指し管理運営を行いました。また、登録団体から依頼されるイベントや各種研修等の情報を随時更新しました。（掲載依頼 139 件）



（イ） 情報発信事業

a かわさき福祉情報サイトふくみみFacebookページの運営

かわさき福祉情報サイトふくみみFacebookにて、かわさき福祉情報サイトふくみみに掲載している研修・イベント情報や、助成金情報、地域福祉情報バンクの図書・DVD情報等を発信し、利用の促進を図りました。

b 市社協ウェブサイトとの連携

ウェブサイトでは、迅速な情報配信を実現するために新着情報や災害関連最新情報について、関係機関と連携して更新作業を随時行いました。また、ページレイアウトや記事の見直し、リンクの再配置等についても適時行いウェブサイトの利便性の向上に努めました。

c 地域福祉情報バンク通信発行

地域福祉情報バンクの存在と機能を広く広報・PRするため、地域福祉情報バンク通信を年4回発行しました。

2024年春号、2024年夏号、2024年秋号、2025年冬号

(発行部数 季刊各7,000部/合計28,000部)

送付先：地域包括支援センター、障害者相談支援センター

市民館、図書館、区役所、地域見守り支援センター
ボランティア団体、図書利用登録者、各区社協
小学校、中学校、高校、大学、高齢者施設
障害者施設、病院、地域子育て支援センター
こども文化センター、郵便局等

(2,175 か所 7,000 部×4 回の 28,000 部送付)



(ウ) 地域福祉情報広報活動事業

a 「かわさき福祉情報サイトふくみみ」に関する広報活動

- ・「かわさき福祉情報サイトふくみみ」

パンフレット（リーフレット）

：各種イベントや研修等を中心に約900枚を配布。

- ・「かわさき福祉情報サイトふくみみ」広報物設置

：川崎駅アゼリア地下街広報スペース（1/31～2/14）



b その他の広報活動

- ・図書パンフレットの配布：新規利用者や来所者等に図書等の貸出についてパンフレットを渡してわかりやすく説明を行い、利用の促進を図りました。
- ・本会の研修部門（福祉人材バンク等）、と連携し、川崎市総合福祉センターを会場に実施される研修にて、地域福祉情報バンクのPRや研修開催主旨に合わせた図書・DVD等の情報提供を行い、新規登録者の獲得と貸出の増加につなげました。（「図書パンフレット」・「地域福祉情報バンク通信」・「かわさき福祉情報サイトふくみみパンフレット」・「専門相談のご案内チラシ」を約900部配布）
- ・ボランティア交流室利用団体を対象に、「地域福祉情報バンク通信（各号×4回）」を配布し、新規登録者の獲得と貸出の増加につなげました。
- ・ボランティア活動振興センター入口に「おすすめ図書コーナー」、センター内に「新着図書コーナー」、「福祉マンガコーナー」を設置し、来館者への情報提供を行いました。



(エ) 情報提供事業

①図書資料、DVD等の閲覧・貸出サービスの実施

社会福祉・保健及び関連分野の図書資料等を収集し貸出を行いました。また、各区社会福祉協議会でも返却可能とし、利用者の利便性の向上を図りました。

- ・ 図書資料所有数：図書 5,268冊／DVD・ビデオ556本
- ・ 新規登録者数： 71名 (+9名)
- ・ 図書貸出・閲覧者数： 1,192名
- ・ 利用者数： 955名 (+159名)
- ・ 貸出件数： 2,100件 (+383件) (図書1,952件 (+374件) ／DVD・ビデオ148件 (+9件))
- ・ コピー機（一般利用）： 43人

②情報提供検索用パソコンの利用サービスの実施

市民の方が気軽にインターネットを通じて、地域情報を検索・閲覧ができるようにパソコンを設置し、情報収集の支援を行いました。

- ・ 利用者数： 72 名

イ 福祉相談事業

(ア) 総合相談事業

a ふくし相談事業

- ・ 総合的な福祉の相談に対応できる職員体制を整え、健康・医療・生活・福祉に関する様々な相談に応じました。
- ・ 相談件数：370件
- ・ 相談件数は前年に比べて減少していますが、初回相談の件数は例年と同程度となっています。これは初回対応の質が向上し、その場で解決できるケースが増加したことが主な理由です。従来のように一旦預かり、後日折り返す必要があった件数が減少したため、トータルの件数が抑えられています。
- ・ 相談員の資質向上（研修会への参加）

b 地域福祉情報バンクへの相談

地域課題研修は、地域の課題に気づく意識、地域の中でつながりを持つ目的で「ゲートキーパー」「ドローン体験交流会」（3 回）「認知症サポーター養成講座」（2 回）「認知症の方への接し方」「ヤングケアラー理解研修」「山口達也さんによるアルコール依存症と共に生きる～人生をあきらめない～」、6 テーマ 9 回開催しました。

地域活動促進研修は、地域活動の活性化、活動を広げる目的で「初級者向けスマホ活用研修」（2 回）「よしもとスポーツ Let' s レクリエーション」「はじめてでもできるバルーンアート」（2 回）「まずは自分！バランスを整えよう！健康 UP レッスン」「社会的処方ってなあに？」「はじめての動画編集」「インターネットセキュリティを学ぼう」7 テーマ 9 回開催しました。

研修内容等の企画・実施にあたっては、十分な感染予防対策を講じるとともに、開催形式は染状況を配慮した上でオンライン又は会場、オンラインと会場のハイブリット形式と柔軟に設定するとともに、可能な限り動画を公開し、視聴できることで参加促進に努めました。社会福祉協議会が運営する川崎市総合研修センターと連携し、ニーズ分析や検討を重ね、より市民の方へ効果的な研修を実施することに努めました。

（３）施設・設備の利用提供事業（貸し館事業）について

令和 4 年度から長寿命化に伴う改修工事が終了し、新型コロナウイルス感染症の 5 類への移行後、利用状況も日常に戻りつつありますが、引き続き、感染症対策を徹底するとともに総合福祉センター条例及び施行規則等に基づき、より安全で適正な施設・設備の利用提供事業の実施に努めました。

その結果、利用状況は施設全体（ホール、大会議室、第 1・2・3 会議室、和室）で、年間 6, 0 2 9 件（利用区分）の貸出可能件数のうち 3, 3 3 2 件の利用があり、稼働率は 5 5. 3 %でした。（利用状況は、別紙資料「利用状況一覧表」を参照）

また、令和 6 年 3 月 3 1 日時点で平成 3 0 年 1 2 月の利用料の未納が続いていたケースについて、内容証明の送付、川崎簡易裁判所における少額訴訟申立を行い、令和 6 年度に訪問による督促を実施し全額を回収することができました。

（４）ニーズ把握方法と運営方針への反映及び地域との連携について

1 階センターの受付窓口、エレベーター横と 7 階ロビーに設置している「意見箱」やセンターホームページの「意見募集欄」などで、利用者の意見・要望の把握に努めました。

施設管理について、その全ての職員の情報の共有を図るため導入したグループウェアを活用することにより、施設の管理運営の円滑化を図りました。

また、重要な案件や大きな問題については、本会内部で組織的に検討を行うとともに、川崎市所管課とも協議しながら、対応・改善に努めました。

地域との連携・交流等については、川崎市立中央支援学校「インターンシップ（校外授業）4 月～3 月の通年（週 2 日程度。時期・学年により異なる。）」に協力しました。また、川崎市をホームタウンとするプロバスケットチーム・川崎ブレイブサンダースのイベントとして観戦者がとどろきアリーナへ向かう途中のチェックポイント設置に協力しました。

(5) 事業の周知方法について

センターのホームページで事業を広報するとともに、リーフレット（センター概要案内）、社会福祉研修センター事業の各種研修募集案内（チラシ）、地域福祉情報バンクの案内（ボランティア活動振興センターの事業案内リーフレット）、施設・設備の利用提供事業の案内（貸し館事業のパンフレット）を、区社会福祉協議会、区役所、公共施設、関係機関・団体などに配布して、センターの概要並びに事業の周知を図りました。

また、手続き書類のメール受付や問い合わせ等のメール対応の拡充による利便性の向上に努めました。

(6) 施設及び設備の維持・管理について

専門性を必要とする業務については、適性かつ効率的な管理運営が行えるように、専門業者に委託して維持・管理を行いました。

また、センターの安全性と快適性を高めるために、経年劣化した設備の故障・破損について優先順位を検討して修繕を実施しました。

① 外部委託した専門業務

※ [] 内は、再委託先

	業 務 内 容	実施月・実施期間	業者名
1	総合管理業務	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	セントラル総業(株)
2	舞台運営管理業務	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	(株)サイオー
3	保安警備及び駐車・駐輪場 管理業務	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	セントラル総業(株)
4	日常清掃	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	セントラル総業(株)
5	定期清掃	6・9・12・3月	セントラル総業(株) [有和商事]
6	害虫駆除	5・11月	セントラル総業(株) [(株)マルマ]
7	自家用電機工作物保守	毎 月	セントラル総業(株) [(財)関東電気保安協会]
8	舞台等照明設備保守	8・2月	(株)サイオー
9	舞台等音響・映像設備保守	6・12月	(株)サイオー
10	舞台機構設備保守	5・9・1月	(株)サイオー
11	ピアノ保守	6・12月	(株)サイオー

	業 務 内 容	実施月・実施期間	業者名
12	電気時計保守	1 2 月	セントラル総業(株) [アイ通信工事(株)]
13	立体駐車場設備保守	毎 月	セントラル総業(株) [I H I 運搬機械(株)]
14	自動ドア保守	6 ・ 1 0 ・ 2 月	セントラル総業(株) [寺岡オートドアシステム(株)]
15	エレベーター保守	毎 月	セントラル総業(株) [(株)日立ビルシステム]
16	シャッター保守	3 月	セントラル総業(株) [東洋シャッター(株)]
17	非常用自家発電設備保守	5 ・ 1 1 月	セントラル総業(株) [協同電機(株)]
18	案内表示板保守	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和 7 年 3 月 3 1 日	東横システム(株)
19	一般廃棄物・産業廃棄物収集 処理（蛍光灯類除く）	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和 7 年 3 月 3 1 日	(有)国豊
20	産業廃棄物収集処理（蛍光灯 等ランプ類）	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和 7 年 3 月 3 1 日	(株)早船
21	玄関マットリース	毎 月	(株)ユニマットライフ
22	パソコン	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和 7 年 3 月 3 1 日	東横システム(株)

② 施設・設備の主な修繕（税込み）

	修 繕 名	内 容	金額（円）	業者名
1	油圧高所作業台年次 点検	油圧高所作業台年次点検の実施	49,500 円	(有)スエ・ ハイドロリ ック
2	5 階防火戸レリーズ 交換	開閉に支障が生じているため 5 階防火 戸のレリーズを交換	45,650 円	セントラル 総業（株）
3	照明設備演出効果機 器交換工事	不都合が生じているため交換工事	490,050 円	株式会社サ イオー
4	冷温水系統エア抜き 弁交換工事	エア抜き弁補修工事	550,000 円	セントラル 総業（株）
5	非常用発電機不具合 修繕工事	エンジンの修繕工事	528,000 円	セントラル 総業（株）

6	外部散水栓補修工事	蛇口部分の補修工事	165,990 円	株式会社フューモ
7	ゴミ集積所散水栓補修工事	漏水が確認されたため配管の補修	198,880 円	株式会社フューモ
8	1 階・4 階ウォータークーラー撤去工事	故障及び衛生管理の為撤去	92,070 円	株式会社フューモ
9	収納棚設置工事	4 階ウォータークーラー撤去後のスペースに清掃用具等の収納棚を設置	131,450 円	株式会社フューモ
10	駐車場ダクト断熱材貼り換え	保温材がはがれたため補修工事	462,000 円	セントラル総業（株）
11	防火シャッター蓄電池交換	有効期限切れの蓄電池の交換工事	28,270 円	文化シャッター株式会社
12	消防設備改修工事	有効期限切れの設備の改修工事	731,500 円	セントラル総業（株）
13	EV 3・4 号機 総合バッテリー交換	エレベーター遠隔監視装置用バッテリーの交換工事	70,400 円	セントラル総業（株）
14	駐車場シャッター障害物感知装置交換工事	感知機能劣化の為交換工事	243,100 円	セントラル総業（株）
15	冷温水発生器給水機配管修繕	ブロー配管の取替工事	396,000 円	セントラル総業（株）
16	駐車場管制システム防雨スイッチ増設工事	操作を改善するため防雨スイッチの増設工事	143,000 円	株式会社フューモ
17	シャワー室用の給湯器取替工事	経年劣化の為改修工事	120,000 円	東京ガスライフバル
18	冷温水発生機 空気圧スイッチ交換	接点不良のためスイッチ交換工事	165,000 円	セントラル総業（株）
19	汚水配管 TV カメラ調査	排水管内の TV カメラによる調査	253,000 円	扇矢工事株式会社
20	配管更生工事	漏水部分の補修工事	2,453,000 円	扇矢工事株式会社

（７）管理経費の縮減に対する取り組みについて

外部委託した主な専門業務については、経費の節減と業務の質の向上を目的として、入札に

あたり、提案内容回答書の提出を求め、円滑な管理運営を行いました。

また、電気料金の高騰を受け、契約中の電力供給会社以外から見積書を徴取し比較検討を行ったうえで東急パワーサプライ（株）との契約を継続することとしました。

修繕については、軽微なものでセンターのスタッフが修理可能なものは、経費を節約するため極力自前で行うとともに、外部業者に修理を依頼する場合には、実績のある業者を選定し見積りを依頼して発注するなど、経費の縮減に努めました。具体的には、部品を購入して設備担当者がホール入口のドアの開閉を改善したり、漏水や異音を発生する機器の修繕などについて自前で実施しました。

（８）個人情報の取り扱いについて

「川崎市個人情報保護条例」、「川崎市社会福祉協議会個人情報保護規程」、「川崎市社会福祉協議会情報セキュリティガイドライン」及び「川崎市社会福祉協議会職員倫理綱領」に基づき、個人情報を適性かつ安全に取り扱い、適切な管理に努めました。

個人情報が記載されている書類等の取り扱いについては、必要に応じて目隠しをしたうえで複数人による確認のうえ発信することに加えて、決められた保管場所に保管するなど適正に管理し、不要になった場合は、シュレッダー等を使用して復元できない形にするなどして適切に処分しました。また、誤送信による情報流出を防ぐため、メールやFAXを送信する際は、チェックリストを活用しながら複数人で送付先や添付資料等を確認し、必要な個所に目隠しをするなど、対応を行っています。

（９）安全管理への取り組みについて

①事故防止への取り組みと事故発生時の連絡報告体制

危険や異常を早期に察知できるように警備員による館内巡回を行うとともに、事故等の危険が予測される箇所については、改善、又は表示を貼付けるなどして注意喚起を促すなど、事件・事故の予防に努めました。

緊急連絡体制については、委託業務の責任者等を含めた有人・無人時における連絡体制を整え、連絡網を作成して関係者に配付し、周知を図りました。

修繕工事の実施にあたっては、工事業者と綿密な調整を行い安全管理や注意喚起を行うとともに、会館と各工事業者とのスケジュール情報の共有により会館利用者に支障が生じないようにしました。

また、センター内の従事者及び市社協職員を対象に消防避難訓練を２回（令和６年４月２４日（昼間）、令和６年１０月２３日（夜間））実施し、通報・避難誘導、緊急連絡・伝達、防火扉・消防設備（消火栓・消火器）操作等の訓練を行いました。

②発生した事故等の内容、件数、対応状況

事故・急病・怪我については、発見・確認次第、迅速な対応に努めました。物損事故はありませんでしたが、利用者等の体調不良による救急車の出動は3件でした。

(10) 利用者からの意見・要望等への対応について

3階ホワイエ、1階エレベーター横、7階ロビーに設置している「意見箱」やセンターホームページの「意見募集欄」などで、利用者の意見・要望の把握に努めるとともに、苦情受付の対応と体制を明示して苦情の解決に努めました。

意見箱に投函された「意見用紙」及び苦情受付の「苦情申出書」等により、次のとおりご意見等をいただき、適切に対応しました。

(意見等)

	日 付	意見要旨	回 答 (対 応)
1	令和6年7月	・和室の机が多すぎる。 ・意見箱に筆記用具がない	・試験的に3台机を減らして対応しました。 ・常時鉛筆を用意していますが稀に無くなることもあるため、確認を強化いたしました。
2	令和6年10月20日	・調停相談会に参加したがとても良かった - これから老後に向けた情報に期待しています。	・当日は横浜地方裁判所の主催行事が大会議室にて行われていました。
3	令和7年3月15日	・清掃、警備担当の動きが変 ・受付あたりでの作業音がうるさい。	・ご利用の皆様が快適にご利用いただけるよう努めてまいります。

3 収支状況

川崎市総合福祉センター収支状況 令和6年度

(収入)

(単位：円)

科目	決算額	摘要
【収入】	198,171,308	
施設利用料金	32,155,210	施設・設備の利用提供事業利用料
指定管理料	165,413,094	光熱水費補填金含む
その他	603,004	清涼飲料水自動販売機設置手数料等

(支出)

科目	決算額(b)	摘要
【支出】	204,052,923	
人件費	51,863,224	報酬・手当・法定福利費等
事務費	140,286,329	業務委託料・水道光熱費・修繕費等
事務消耗品費	1,909,350	センター管理業務消耗品、保健衛生品購入※器具什器費含む
水道光熱費	29,589,176	センター水道・電気・ガス料金
修繕費	7,316,860	補修工事他（指定管理修繕分）
業務委託料	99,437,990	センター管理業務・保守点検業務等委託料
その他経費	2,032,953	人事管理費・賃借料他
事業費	8,343,170	情報バンク事業・研修センター事業に係る経費
報償費	2,808,000	情報バンク専門員報酬・研修センター事業研修講師謝金
通信運搬費	587,834	情報バンク事業回線使用料、研修センター事業切手代等
委託料	761,122	情報バンク事業情報提供サイト保守・研修センターインスタグラム運用等
その他経費	4,186,214	広報費・印刷製本費他
消費税	3,560,200	

4 まとめ

令和6年度は、各事業計画に沿って事業の一層の充実と新型コロナウイルス感染症5類移行後においても、感染対策を徹底した、利用しやすい施設の管理運営を目指して、「地域福祉情報バンク事業」、「社会福祉研修センター事業」、「施設・設備の利用提供事業」を着実に実施してまいりました。

「地域福祉情報バンク事業」では、情報収集・提供事業として「かわさき福祉情報サイトふくみ」の情報を随時更新するとともに、掲載内容の充実を図りました。昨年度に引き続き、SNS等での情報取得が難しい方への配慮として、読み上げ機能の設置をはじめとするアクセシビリティの向上に取り組みました。また、社協内の研修部門との連携、広報啓発グッズの活用などにより、広報の機会を増やす事で事業の利用促進につなげました。福祉相談事業については、上記広報啓発グッズの活用などで、困ったときにすぐに相談できる相談窓口であることを積極的に周知し、寄せられた相談に対して「ふくし相談」「専門相談」の窓口の適切かつ柔軟な運用によって、課題解決に向けてきめ細やかな市民対応を行いました。

今後も福祉情報の発信の強化と相談事業の充実に努めてまいります。

「社会福祉研修センター事業」につきましては、これまでの研修の実績や受講者アンケートなどで把握した研修ニーズを踏まえ、幅広い世代の参加を促し、より有意義な研修となるよう努めてまいりました。川崎市内の地域包括ケアシステム推進を目指し、地域住民や福祉関係者が地域の福祉課題を把握し解決に向けて取組むことができるよう、引き続き多様な研修を企画、実施し、参加者の意識、意欲、知識の向上に努めてまいります。

「施設・設備の利用提供事業」につきましては、大規模修繕工事が終了し、ホール、楽屋、大会議室の利用を再開し、第1・2・3会議室、和室とともに、利用される方々が快適に利用いただけるよう、安心安全で快適な施設の提供に努めました。

大規模改修とは別に、照明設備を改修し舞台での「ミラーボール」の利用を再開し、イベントでご活用いただいています。また、2階レストラン跡の改修工事にあたり、通常利用に支障の無いよう工事業者との調整を実施しました。川崎市の熱中症対策の取組である「ちょこ涼」に参加し、暑さをしのぐ場所を提供しました。

この度の改修により、外壁やホール、和室、トイレなどがリニューアルされましたが、保守点検等でも指摘されていた修繕箇所についても、引き続き、川崎市と協議の上、段階的に実施していきます。今後も、常に工夫や改善に取り組み、多様な市民活動の場をサポートしてまいります。

本会は、地域住民の視点で民間の立場から福祉活動に取り組むための「第6期地域福祉活動計画」を令和6年度からスタートいたしました。また、「組織経営計画」に基づき、ガバナンスの強化、財務規律の透明性及び公平性を維持しつつ、あるべき将来像の構築を目指します。

これからも川崎市と協力しながら、豊富な業務経験を活かし、指定管理事業を一層充実・発展させ、地域福祉の増進に貢献してまいります。

5 資料

(1) 地域福祉情報バンク事業資料・・・資料1

(2) 社会福祉研修センター事業資料・・・資料2

(3) 施設・設備の利用提供事業資料・・・資料3

令和6年度 地域福祉情報バンク 総合相談事業統計

1. 開設日数：246日 相談件数：646件 延べ相談時間：91時間15分

2. 相談件数の内訳（専門相談除く）

	相談延 件数	経路別			経歴別	
		電話	来所	その他	初回	継続
ふくし相談	370	317	41	12	187	183
情報バンク	276	147	18	111	141	135
障害者110番	0	0	0	0	0	0
合計	646	464	59	123	328	318

3. 相談者の内訳（専門相談除く）

	相談実 人数	性別			経歴別		居住区別								
		男	女	不詳	初回	継続	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市外	不詳
ふくし相談	221	75	145	1	186	35	22	13	39	30	11	28	21	19	38
情報バンク	170	63	99	8	138	32	13	6	26	30	11	12	12	27	33
合計	391	138	244	9	324	67	35	19	65	60	22	40	33	46	71

4. 相談経路別所要時間（専門相談除く）

①電話（平均通話時間：10分）

	時間計	合計	5分以内	～10分	～20分	～30分	～40分	～50分	～60分	～90分	～120分	121分～
ふくし相談	3,582分	317	152	57	60	28	8	5	3	4	0	0
情報バンク	705分	147	113	21	9	3	1	0	0	0	0	0
障害者110番	0分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4,287分	464	265	78	69	31	9	5	3	4	0	0

②来所（平均面談時間：21分）

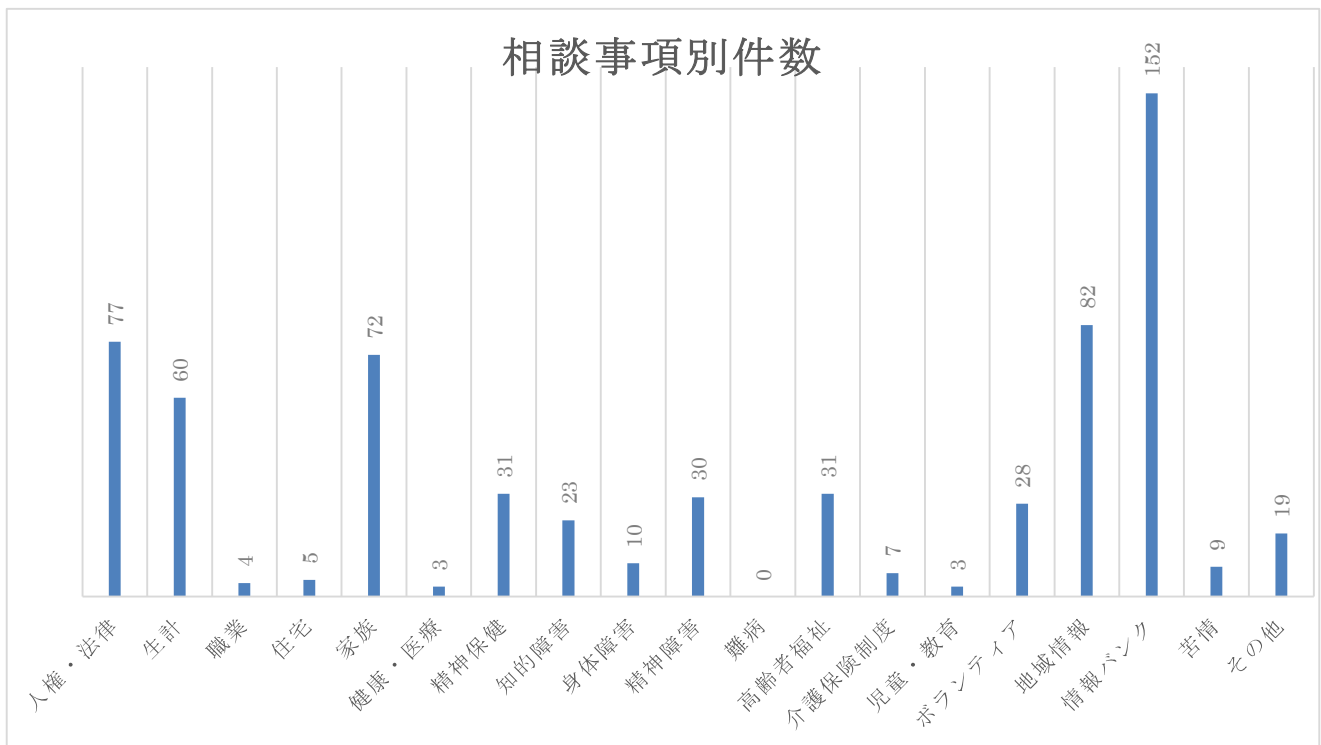
	時間計	合計	5分以内	～10分	～20分	～30分	～40分	～50分	～60分	～90分	～120分	121分～
ふくし相談	812分	41	17	4	8	4	1	1	1	5	0	0
情報バンク	376分	18	8	2	2	2	2	0	0	1	1	0
合計	1,188分	59	25	6	10	6	3	1	1	6	1	0

③その他

	件数	訪問	FAX	手紙	e-mail	その他
ふくし相談	12	0	0	0	8	4
情報バンク	111	0	0	0	110	1
合計	123	0	0	0	118	5

5. 相談事項別件数と処理状況（専門相談除く）

相談事項	件数	%	種別			区 別									処理状況				
			ふくし相談	障害者110番	情報バンク	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市外	不詳	解決	再来	専門相談	関係機関	傾聴
人権・法律	77	12%	74	0	3	7	2	21	7	3	11	6	5	15	25	2	38	10	2
生計	60	9%	54	0	6	7	1	10	10	6	6	5	5	10	17	10	4	24	5
職業	4	1%	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	3	0
住宅	5	1%	5	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1	1	2
家族	72	11%	72	0	0	5	9	8	10	1	6	21	3	9	16	1	39	5	11
健康・医療	3	0%	3	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1
精神保健	31	5%	31	0	0	6	2	3	6	1	3	3	2	5	8	0	19	2	2
知的障害	23	4%	20	0	3	0	0	2	0	0	10	11	0	0	12	1	1	4	5
身体障害	10	2%	5	0	5	2	0	1	0	4	2	0	0	1	4	1	0	4	1
精神障害	30	5%	28	0	2	0	0	5	7	1	13	1	1	2	5	1	7	0	17
難病	0	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉	31	5%	29	0	2	1	5	6	2	1	7	0	7	2	9	5	5	7	5
介護保険制度	7	1%	6	0	1	1	1	0	2	0	1	0	1	1	3	0	0	4	0
児童・教育	3	0%	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0
ボランティア	28	4%	3	0	25	0	0	7	4	2	2	3	2	8	19	2	0	4	3
地域情報	82	13%	10	0	72	4	5	15	13	7	18	3	9	8	71	3	0	6	2
情報バンク	152	24%	4	0	148	9	2	25	25	13	13	7	35	23	144	7	0	1	0
苦情	9	1%	8	0	1	1	0	0	1	0	3	0	3	1	3	0	0	1	5
その他	19	3%	14	0	5	3	4	6	0	1	0	1	0	4	7	3	1	2	6
合 計	646	100%	370	0	276	47	31	110	92	40	97	61	76	92	346	37	117	79	67



6. 専門相談

相談開設日数 ※1	72
-----------	----

相談件数	89
------	----

相談方法 ※2	来所	電話	職員による相談
	84	0	5

相談内容内訳	遺産相続	消費者被害	権利擁護	労働問題	医療過誤	事件・事故	借金	離婚・家族	住宅問題	病院・施設	SV・DV被害	その他	合計
弁護士	12	0	1	1	0	2	2	19	4	0	0	3	44

相談内容内訳	病院・施設	家族関係	対人関係	統合失調症	気分障害	依存症	ひきこもり	認知症	性格・心	SV・DV被害	多問題	その他	合計
医師 (精神科)	0	2	0	1	6	1	0	1	1	0	0	0	13

相談内容内訳	病院・施設	家族関係	対人関係	統合失調症	気分障害	依存症	ひきこもり	認知症	性格・心	SV・DV被害	多問題	その他	合計
学識経験者 (臨床心理士)	0	19	5	1	1	0	0	0	4	0	0	2	32

※1 弁護士・医師（精神科）・学識経験者（臨床心理士）はそれぞれ月 2 回の相談日を設定しています。

※2 職員による相談件数は、相談員のスーパービジョン・コンサルテーションも含まれています。

令和６年度 川崎市総合福祉センター社会福祉研修センター事業

① 地域包括ケア推進研修

実施日	内容	会場	申込者数	受講者数	動画再生
7月12日	「ストレスマネジメント」 ※地域情報バンクとの連携研修 講師：田園調布学園大学名誉教授 公認心理師 荒木 乳根子 氏	川崎市総合福祉センター研修室	43名	30名	
8月22日	「～夏休みに親子で学ぼう～家族で備える！」 講師：川崎市男女共同参画センター職員	川崎市総合福祉センター研修室	17名	17名	
9月3日 9月4日	「わたしらしく今を生きる～人生をより豊かに！始めよう終活～」 9月3日「知っていますか？遺言書づくり」 講師：司法書士福島事務所代表 司法書士 福島 衛 氏 9月4日「多様化する葬送のかたち」 講師：株式会社 SPICE SERVE セレモニー事業部 部長 島田 快 氏 生前終活責任者 入山 一巳 氏	川崎市総合福祉センター研修室	9月3日 20名 9月4日 12名	9月3日 14名 9月4日 9名	
10月18日 午前 午後	「知的・発達障害のある人とその家族を支えるために」 講師：くるみ～来未～理事長 太田 修嗣 氏	川崎市総合福祉センター研修室	午前：17名 午後：18名	午前：17名 午後：17名	
11月13日	「高次脳機能障害を知ろう」 講師：昭和大学医学部 橋本 圭司先生（医師）	川崎市総合福祉センター7階会議室	50名	48名	
12月3日	「知っていますか？保護司の活動」 講師：川崎市保護司会会長 菱 沼 正文 氏 保護観察官、川崎市地ケア職員	川崎市総合福祉センター研修室	27名	30名	
2月7日	「知っていますか？オーバードーズ」 講師：県立精神医療センター 医師 小林 桜児 氏	川崎市総合福祉センター研修室	24名	20名	

② 地域課題研修

実施日	内容	会場	申込者数	受講者数	動画再生
6月20日	「ゲートキーパー」 講師：社会福祉法人川崎いのちの電話 川崎市健康福祉局職員	川崎市総合福祉センター研修室	30名	29名	
8月2日 3回	「ドローン体験交流会」 講師：NPO法人 はたらくらす	川崎市総合福祉センター 7階会議室	1回目 63名 2回目 23名 3回目 26組	1回目 10名 2回目 10名 3回目 10組 (20名)	
9月9日・ 9月19日	「認知症サポーター養成講座」 講師：認知症キャラバンメイト (地域包括支援センター職員)	川崎市総合福祉センター 研修室	9月9日 12名 9月19日 12名	9月9日 12名 9月19日 12名	
9月26日	「認知症の方への接し方」 講師：川崎市立井田病院 認知症看護認定看護師 篠原 悦子 氏	川崎市総合福祉センター 研修室	23名	20名	
10月24日	「ヤングケアラー理解研修」 講師：神奈川県社協ケアラー支援専門員 精神疾患の親をもつ子どもの会「こどもぴあ」 代表 坂本 拓 氏	川崎市総合福祉センター 研修室	20名	18名	
12月6日	「山口達也さんによるアルコール依存症と共に生きる～人生をあきらめない～」 講師：山口 達也 氏	川崎市総合福祉センター7階 大会議室	398名	156名	

③ 地域活動促進研修

実施日	内容	会場	申込者数	受講者数	動画再生
6月13日・19日	「初級者向けスマホ活用研修」 講師：NPO 法人 川崎スマートライフ推進会 理事長 菰田 浩 氏	川崎市総合福祉センター研修室	6月13日 12名 6月19日 15名	6月13日 9名 6月19日 14名	
7月25日	「よしもとスポーツ ：Let's レクリエーション」 講師：吉本興業 ・ジョイマン ・アホマイルド坂本 ・しゅんしゅんクリニックP	川崎市総合福祉センター7階大会議室	60名	45名	
9月17日 午前 午後	「はじめてでもできるバルーンアート」 講師：近藤 多恵氏（バルーンパフォーマー）	川崎市総合福祉センター研修室	午前：18名 午後：9名	午前：18名 午後：9名	
10月30日	「まずは自分！バランスを整えよう！健康UPレッスン！」 講師：小山 圭介氏 ダイエットトレーナー・メンタルコーチ	川崎市総合福祉センター7階会議室	22名	19名	
11月27日	「社会的処方ってなあに？」 講師：西 智弘氏 （井田病院 腫瘍内科部長 /（社）プラスケア代表理事）	川崎市総合福祉センター研修室	32名	26名	
2月5日	「はじめての動画編集」 講師：NEC プロボノ倶楽部	川崎市総合福祉センター研修室	33名	19名	
3月5日	「インターネットセキュリティを学ぼう」 講師：NEC プロボノ倶楽部	川崎市総合福祉センター研修室	27名	20名	準備中

●令和6年度 川崎市総合福祉センター(エポックなかはら) 施設・設備の利用提供事業 利用状況一覧表

施設		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均稼働率
ホール	件数		49	41	44	70	43	54	64	69	47	55	49	68	653	69.5% (653 / 939)
	人数		18,425	14,535	15,955	24,140	12,210	25,052	25,622	19,545	22,325	23,625	14,267	18,924	234,625	
	稼働率%		57.6%	56.9%	81.5%	80.5%	59.7%	67.5%	71.1%	80.2%	61.8%	70.5%	65.3%	81.0%		
第1楽屋	件数		23	34	27	41	22	29	44	48	35	45	39	40	427	42.2% (427 / 1,011)
	人数		690	990	810	1,230	640	870	1,320	1,365	1,050	1,350	1,170	1,114	12,599	
	稼働率%		26.4%	37.8%	32.1%	47.1%	26.2%	35.8%	48.9%	55.8%	46.1%	55.6%	52.0%	44.4%		
第2楽屋	件数		31	34	38	46	32	49	49	56	43	54	44	54	530	52.4% (530 / 1,011)
	人数		612	660	730	920	640	906	980	1,035	860	1,080	880	1,034	10,337	
	稼働率%		35.6%	37.8%	45.2%	52.9%	38.1%	60.5%	54.4%	65.1%	56.6%	66.7%	58.7%	60.0%		
第3楽屋	件数		35	35	36	44	30	43	51	50	44	54	44	60	526	52.0% (526 / 1,011)
	人数		700	680	720	880	650	820	1,020	995	880	1,040	880	1,154	10,419	
	稼働率%		40.2%	38.9%	42.9%	50.6%	35.7%	53.1%	56.7%	58.1%	57.9%	66.7%	58.7%	66.7%		
大会議室	件数		29	39	41	46	37	42	51	59	41	57	50	63	555	53.9% (555 / 1,030)
	人数		3,145	4,400	5,692	3,986	3,591	4,276	6,262	7,665	6,025	7,294	7,287	6,419	66,042	
	稼働率%		33.3%	43.3%	47.1%	51.1%	42.5%	48.3%	56.7%	67.8%	51.9%	70.4%	66.7%	70.0%		
第1会議室	件数		43	42	46	45	39	46	57	58	44	55	43	54	572	56.5% (572 / 1,013)
	人数		350	334	389	392	342	377	507	491	381	490	357	421	4,831	
	稼働率%		50.0%	47.2%	54.1%	50.6%	45.3%	53.5%	64.0%	68.2%	58.7%	68.8%	58.1%	60.7%		
第2会議室	件数		43	45	50	61	50	44	56	57	50	57	51	57	621	61.4% (621 / 1,012)
	人数		350	342	361	457	386	308	409	427	368	465	381	391	4,645	
	稼働率%		50.0%	50.6%	58.8%	69.3%	58.1%	51.2%	62.9%	67.1%	66.7%	71.3%	68.9%	64.0%		
第3会議室	件数		36	34	48	47	40	42	54	48	35	48	50	51	533	52.8% (533 / 1,010)
	人数		1,541	1,615	1,838	1,981	1,577	1,627	1,934	1,878	1,447	2,273	1,931	1,991	21,633	
	稼働率%		41.9%	39.1%	56.5%	52.8%	46.5%	48.8%	60.7%	57.1%	46.7%	60.0%	67.6%	57.3%		
和室	件数		25	33	38	29	23	29	37	36	33	42	35	38	398	38.8% (398 / 1,025)
	人数		276	331	407	284	220	292	401	416	322	459	361	333	4,102	
	稼働率%		28.7%	36.7%	43.7%	32.2%	26.4%	33.3%	41.1%	41.9%	43.4%	51.9%	47.3%	42.2%		

〈楽屋を除く施設の利用状況（ホール、大会議室、第1・2・3会議室、和室）〉

合 計	件数	225	234	267	298	232	257	319	327	250	314	278	331	3,332	55.3% (3,332 / 6,029)
	人数	24,087	21,557	24,642	31,240	18,326	31,932	35,135	30,422	30,868	34,606	24,584	28,479	335,878	
	稼働率%	43.5	45.3	55.3	55.9	46.0	50.2	59.4	63.7	54.8	65.4	62.3	62.3		
	楽屋を除く利用可能区分数	517	517	483	533	504	512	537	513	456	480	446	531	6,029	

※稼働率(%)は、件数(利用された区分数)を利用可能区分数で除した割合です。区分は午前・午後・夜間を各1区分とする。人数は申込み時の申請利用人数です。